

技術検討会「半導体関連技術高度化」

世話役

大隈恵治(オオクマ電子)

1 事業概要

目的	近年、TSMCの熊本進出を契機に、熊本県内での半導体産業企業の集中立地と大幅な設備投資、また複数企業に関連する既存立地工場の大幅増設の計画が発表されるなど、日本でも有数の産業集積に向けた機運や期待が過去に例がないほどに高まりつつある。加えて熊本大学でも半導体教育過程の新設や内閣府交付金事業に関連した3D連携コンソーシアムが設立予定など、産官学連携での県内半導体産業関連における事業振興が期待される環境となっている。そこで、県内の半導体関連技術者や関連企業、さらには中小企業における半導体関連技術の更なる高度化に向けた研究開発、ビジネスチャンスの検討など新たな用途及びその関連技術についてあらゆる角度から技術検討を行う。
内容	高度化する半導体製造技術開発において、新たなビジネスチャンスや製造技術等について技術動向等調査し、県内企業が参加できる分野や製品について検討を重ね必要な技術の習得を行う。また、競争的資金に移行するための研究グループの研究事業化プロジェクト形成への醸成を行い、最終的には市販化を目指した製品の開発を行う。 具体的には、半導体関連技術について産学官の連携により以下の検討を行う。 ・半導体製造装置の高精度化に関連に関する技術開発 ・県内に半導体産業が集積することによるビジネスチャンスの検討 ・高精度化と三次元化の実現に向けた要素技術開発と検討 ・技術開発、製品開発テーマごとのアライアンスグループ形成 ・クローズドな技術開発プロジェクトへの移行促進と製品開発 ・公的資金獲得に向けた情報交換など
計画	年間4回程度の技術検討会を実施する。
キーワード	半導体関連、半導体検査装置関連、半導体製造プロセス、3次元実装技術他
目標及びその進め方	情報収集及び現状調査を行い、テーマごとの勉強会や共同セミナーの開催。 可能であればアライアンスと研究開発テーマグループの決定。 (参考:次年度以降の進め方) 製品開発に必要な技術に習得を行うため、勉強会等の開催。 開発製品の目途が立ったものから事業化プロジェクトへ移行してクローズでの検討を開始。 3年目以降は外部資金や補助金等も活用しながら、試作品の開発及び課題を抽出。 複数の製品開発を並行し促進。 コーディネート役は産業技術センターの松枝寛、土村将範氏
対象者	● 企業のエンジニア ● 反動た技術高度化に興味のある人 ● 産学官連携プロジェクトに興味のある人
会員	新たに募集する。

2 支出計画

単位:千円

	RIST負担分					備考
	設備費	原材料費	消耗品費	その他	合計	
予算				300	300	

3 予算積算(概算で結構です)

(単位:千円)

	品名	単価	個数	価格	備考
設備費				0	
原材料費				0	
消耗品費				0	
その他	講師旅費・謝金、会場費など	75	4	300	
合計				300	